

Weekly Report



会長：榎原一久 幹事：佐藤美枝子 RI会長：フランチェスコ・アレツォ 第2580地区ガバナー：中川雅雄

四字熟語でロータリー 多芸多才 (たげいたさい)

多くの方面に豊かな才能や技術を持っていることです。さらに、趣が様々にあるとなれば多趣多様となります。ロータリアンは、仕事が多事多端ですが、さまざまな分野で多芸多才な持ち主が奉仕の精神を胸に刻み、多種多面に活躍しているのです。
(小泉博明)

本日の例会

1月15(木)12:30~13:45
職業奉仕フォーラム 横山委員長

次回の例会

1月22日(木)12:30~13:30
卓話 会員卓話

1月8日 例会報告

司 会	里見会員
開会点鐘	榎原会長
ロータリーソング	
ソングリーダー	稲川会員
会員総数	28名
出席規定適用者数	22名
本日の出席者総数	24名
// 免除者出席数	6名
本日の出席率	73.33%

ゲスト

富士 美子様	卓話者/浪曲師
沢村 道世様	曲師

会長報告

- 米山奨学会よりメジャードナー表彰
鈴木孝雄会員 (クリスタル楯)
ポールハリスフェロー+2 授与
佐藤美枝子会員 (ピンバッジ)

2 「ロータリーの友」誌1月号

■(横組P5~11)職業奉仕月間特集

輪島塗の製造販売に関わる若手5人がロサンゼルスに行き、輪島塗文化を伝えるとともに、海外販路可能性を探ってきたことが掲載されております。

○(横組P45)内外よろず案内

「ロータリー希望の風奨学金」チャリティーライブ開催の記事が掲載されております。

東京福生ロータリークラブの石川彌八郎パストガバナーが主催しましたライブです。

幹事報告

- 国際ロータリー為替レートの発表(2026年1月)
1.00ドル当たり 156円
- 事務局員の補充について
- 米山カウンラーについて 山本会員に決定

ニコニコ

浅原会員 誕生祝い有難う御座います。歳も忘れたい程です！これからも元気で頑張ります↑皆様も負けずに元気でね！

宮代会員 誕生祝ありがとうございます。86才になりました。みなさんも健康に気を付けて過ごしましょう！！

榎本会員 91才になります。白寿まで頑張りたいと思います。

野口会員 今年こそ云いながら今年を迎えました。誕生日を数えると考えさせられます。年齢に関係なく今年も気力で頑張ります。今年で82歳



高木会員 右脚肉離れで2カ月ぶりの例会出席です。完治した訳ではありませんが、リハビリを兼ねて出席です。右脚は治ったのですが、今度は左脚が…

宮部会員 皆出席36年になりました。気が付けば随分永くいたもんだ！

加古会員 皆出席17年になりました。健康に留意して継続できればと思います。

小林会員 皆出席30年を目指します。

指定ニコニコ

親睦委員会

佐藤(美)会員 親睦へのニコニコ。明けましておめでとうございます。残り6ヶ月相変わらず宜しくお願いいたします。

本日のニコニコ合計額：51,000円

本日の指定ニコニコ合計額：5,000円

今年度ニコニコ累計額：243,250円

今年度指定ニコニコ累計額：5,000円

第7回理事会報告

日時 2026年1月8日(木)11時～12時

議題

報告事項

- ①榊原会長より2025－2026年度12月会計報告
- ②国際ロータリー為替レート1月は1\$ 156円
- ③1－3月の例会日程が佐藤(美)幹事より説明
- ④榊原会長と佐藤幹事より後任事務局として採用した方の突然の退職に至った経緯の説明

審議事項

①理事会の成立要件を再検討し、細則に追記するかを検討し再度理事会に諮るものとする。論点として理事欠席の場合の委任状の可否、委任状については細則に記述がない。成立が危ういと判断された場合の理事会開催のリスケジュールおよびその連絡体制。

②年末夜間例会における収支の赤字について、ニコニコのなかから充当する案が提示されたが異論があり、通常例会の例会費余剰金およびニコニコのなかから親睦指定のニコニコの総額を算出し、再度会計処理について審議する。

③報告事項にもあった後任事務局として採用した方の給与処理について、雇用契約を締結する前の突然の退職であったが、4日間の勤務時間に応じた給与と通勤手当を支給することを承認した。

④地区より2026－2027年度米山奨学生世話クラブとカウンセラーの引き受けの依頼があり、カウンセラーには山本伸也会員に依頼することを決めた。カウンセラーの負担を軽減するため該当年度の米山奨学事業委員会にバックアップの役割を担ってもらおう。

⑤有我信行会員から退会願いが提出された。佐藤久雄会員より榊原会長に退会の意思表示があったので、退会願いの提出を促す。

1月8日新春例会

オープン例会 浪曲「花の若武者」

1月8日、オープン例会は、浪曲師富士実子、曲師澤村道世による『花の若武者-那須与一』を楽しんだ。日本の伝統話芸で、落語は「話す」、講談は「読む」、浪曲は「唸る」という。演目は、源平の合戦の一つである屋島の戦いで有名な場面である。とくに、源義経の命令に従い、那須与一が平家方の小舟に揺れる扇を射抜くまでの、与一の覚悟や緊張感を、浪曲の巧みな節の抑制で、その場面の緊迫感を際立たせた。矢が放たれた瞬間は、客席の空気が一変し、会場全体が一体となった。海風の音や扇の揺らぎまでも感じることができた。なお与一とは、余る一であり、十一男の通称である。女流ならではの語りと節の柔らかな情感により、源平の合戦の場面であるが、一つの間人ドラマとして、新たな息吹を吹き込んだと思う。これからの富士実子のなお一層の活躍を期待する。（小泉博明）

